



周防大島町

2026.1 第84号

# 議会だより

発行 / 周防大島町議会 〒742-2192 周防大島町大字小松126-2 ☎0820-74-1003 (議会事務局) [giji@town.suo-oshima.lg.jp](mailto:giji@town.suo-oshima.lg.jp)

#島映え はじまる。

「山口県ふるさとCM大賞応募作品」





担当編集委員：岡崎・白鳥

# 地域活性化・害獣・防災対策特別委員会

## 有害鳥獣害対策セミナーを受講しました(11月8日)



講師：(株)野生鳥獣対策連携センター  
阿部 豪氏

継続した捕獲従事者の努力と豚熱のまん延により捕獲頭数が減っていたイノシシですが、ふたたび増加しはじめました。

このままでは再び農業被害が拡大することが懸念されます。当委員会では獣害対策の最前線を学ぶために講習会に参加しました。

電気柵の設置方法や適切な管理方法、イノシシやシカ、その他害獣の生態など、最新の情報や状況など動画を交えてとても詳しくご説明いただきました。

## 現場の声から探る「持続可能なコミュニティ」佐連自治会(11月20日)

佐連自治会役員の方々等に、当委員会の主要テーマである「持続可能なコミュニティ」について、お話を伺いました。

### 〇命を守る道「<sup>しょうけんどう</sup>承兼道」の維持

集落を囲む「承兼道」は、農道としての役割だけではなく、豪雨時の排水や県道不通時の避難道にもなる「集落を守る防災インフラ」として昔集落の方が整備しました。人口減少と高齢化により、住民パワーでの管理が限界に。

公的支援を切実に求められました。

### 〇人口動態の再分析でみえた「希望」

町の人口予測について、副会長の榮氏から、将来展望を見出す一つの見方が示されました。

- ・現状分析：実は「社会増(転入超過)」傾向にあり、過疎地としては全国的にも稀有な成功例になっている。
- ・将来予測：町の推計(2060年に 5,000人)に対し、実態を加味すれば「7,000～ 9,000人」で安定する可能性があり、そのくらいの規模が保てると必要な商店などは持続できそう。

### 〇集落存続の鍵は「熟年層のUターン」

佐連地区では、集落情報誌『山王』を40年にわたり発行しており、出身者との強い絆を維持しています。これまで自治会活動を支えてきたのは、Uターンしてきた熟年層(50～60代)の力だといいます。今後、その世代のUターン促進に向けた提案がありました。

- ・仕事(一次産業)：世の中、需要より供給側の減少速度が速いので、しっかり取り組みれば高収益にできる好機。「稼げる島」というイメージ発信が大切。
- ・家(住宅)：すでにリフォーム困難な空き家が多い中、「住む家さえあれば帰りたい」というUターン希望者は確実にいる。受け皿となる町営住宅が集落にあれば…。

委員会では、今回お聞かせいただいた声をはじめ、地元の状況や他市町での事例、国の制度などを調査研究し、「住み続けたい・住み続けられるまちづくり」への具体的な政策提案に活かしてまいります。



佐連自治会(西村会長、榮副会長、桑原会計)・白木半島地区コミュニティ協議会(新山会長)の皆様と。



# 議会改革の観点からの議員定数及び議員報酬等のあり方特別委員会

担当編集委員：吉村・栄本



制定することだけが目的ではありません！  
何よりも町民の負託に応える姿勢、そして、議員一同、覚悟をもって議会改革を進めてまいります！



ヨシムライインチョー

当委員会で議論を重ね、議員発議として本会議に上程し、全会一致で可決されました。

## 議会が大きく前進！

### 議会基本条例

(全文より抜粋)

- ➡町の政策決定や事務の執行を監視する役割を行うとともに、政策形成における提案・提言を行うことで、町民の福祉の増進及び町政の発展に寄与しなければならない。
- ➡町民との信頼関係や執行機関との協働が不可欠である。さらに、議会の公正性と透明性を確保し、町民に開かれた議会活動を行う。
- ➡合併前の旧4町の枠組みや境界線、慣習、前約にとらわれることなく、軋轢を超え、町全体考えた行政運営や町づくりを推進すべきである。



## 県内町議会初！

### 議会議員政治倫理条例

(制定の理由)

- ➡議員が遵守すべき政治倫理基準を定め、違反の疑いに対して、実効性を確保するため、政治倫理に対する公正な対応を可能とする仕組みを定め、議会及び議員がこれまで以上に高い倫理性と責任感を持ち、住民からの信頼を一層高め、健全で節度ある議会運営を確保するため。

(審査の請求)

町民からも審査請求できる！

- ➡第5条 (前略) 町民にあっては議員定数の6分の1以上の議員の紹介をもって、議長に審査の請求をすることができる。



## 行政・病院事業改革特別委員会

■包括連携協定(出張所の今後) ➡郵便局を活用し行政サービスを維持！  
出張所から郵便局への機能移行で、今後も地元に残る可能性が大幅に上がる。



- ・令和7年4月から和田出張所の機能を和田郵便局へ移行。この度、沖浦・白木地区で説明会を開催。
- ・令和8年10月から出張所機能を沖浦・白木郵便局へ移行するスケジュール案が示された。

### 沖浦・白木地区説明会での質疑応答

- Q：現在、出張所で取り扱っている行政手続きは郵便局へ委託する場合どうなるか。  
A：大半が郵便局に引き継がれます。不便にならないよう最大限努めます。
- Q：郵便局へ移行後も出張所施設の利用は可能か。  
A：可能です。利用申請は郵便局で行います。鍵の管理に関しては検討中です。
- Q：郵便局は業務が増えることに対し、職員の増員は考えているか。  
A：移行後の取扱件数の推移を見ながら、必要に応じて検討します。
- Q：行政手続きよりも、郵便局の業務が優先されるのでは。  
A：業務内容に関係なく、お客様が来られた順番で対応します。
- Q：移行するスケジュールを半年程度伸ばしていただけませんか。  
A：移行スケジュールの調整については地元の意向を踏まえ検討します。



白木地区説明会



藤本浄孝町長  
行政報告↓



## 令和7年第4回 周防大島町議会定例会 令和7年11月28日～12月16日(19日間)

荒川政義議長  
諸般の報告↓



### 議会基本条例・議会議員政治倫理条例の制定を全会一致で可決

(↑詳しくはP3にて解説)

主な議案・発議とその結果	結 果	占 部 智 子	浅 原 賢 潤	山 根 耕 治	栄 本 忠 嗣	岡 崎 裕 一	山 中 正 樹	白 鳥 法 子	田 中 豊 文	新 田 健 介	吉 村 忍	久 保 雅 己	小 田 貞 利	尾 元 武	荒 川 政 義
賛成：○ 反対：●															
条例の制定															
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例※①	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会基本条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員政治倫理条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正															
町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び町長等の給与及び旅費に関する条例	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定															
陸上競技場及び総合体育館	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
ながうらスポーツ滞在型施設等	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
竜崎温泉潮風の湯	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
サン・スポーツランド片添、片添ヶ浜温泉遊湯ランド及び青少年旅行村	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

※ 他の10議案、4同意は全会一致で可決しました。

※①こども誰でも通園制度が令和8年4月から全国の自治体で義務づけられるので、制度を導入するために必要な条例制定です。

Q：こども誰でも通園制度って何？

A：保護者の就労等の要件なしに、月10時間を上限に、保育所などにこどもを預け、育ちを支援する制度です。



※暫定基準額であり、令和8年度において改定される可能性あり

対 象 年 齢	生後6ヶ月～3歳未満			
利 用 料	1時間あたり 300円 (標準)			
負 担 金	0歳児：1時間あたり 1,300円	1歳児：1時間あたり 1,100円		
(町→保育園に払う報酬額)	2歳児：1時間あたり 900円	※障がいの加算あり		

## 全員協議会のトピック

重要施策や未決定事項を、全議員で協議・情報共有する場です。議会が摘した課題への対応状況を報告・再協議し、本会議での適切な判断へ繋がります。決定権はありませんが、調整を担う「熟議の場」として重要です。

### え!? もう!? 半年前にできた病院事業再編計画の変更

#### 橘医院&やすらぎ苑を売却せず高校の寮として“無償貸与”。町に追加支援要請

- ・売却益を見込んでいた施設の買い手が見つからず、県大附属となる周防大島高校で不足が見込まれる寮として活用するため、県に“無償貸与”する計画に。
- ・転出予定だった内科・歯科は1階に集約。その費用は転出よりも多額になる見込み（機器更新を盛り込むため）。
- ・さざなみ苑の前倒し閉鎖、職員給与の据え置きや管理職のボーナスカット等を行うも、資金不足に。
- ・差し引きR7～9年に“5億5千万円の追加支援”を町に要望。  
※1月12日の「町民説明会」の結果も気になります…!

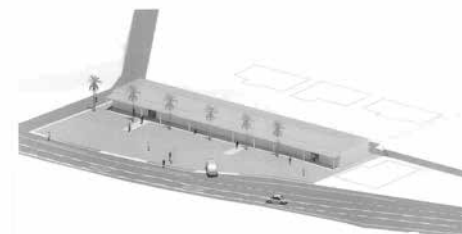


### 観光交流センター（仮称）を地元説明（三浦）

#### 住環境や交通の影響懸念。跡地は？費用は？

説明会（11月30日）には24名が参加。概ね賛同されるも、24時間のトイレ解放や交通安全対策など具体的懸念の声も。

- ・今後策定予定の観光ビジョンとの協調・連動を。
- ・観光協会転出後の施設の整理がつかないままの予算執行に疑問。
- ・町の負担抑制策を要検討。
- ・9月の附帯決議（予算執行の前に町民や議会にしっかり説明を）に十分な留意を！



観光交流センター（仮）イメージ図

### まちのこれからの指針となる総合計画等を策定中

#### 上層部だけではなく若手職員の意見も反映



今回初めて、計画策定のために上層部の会議体だけではなく“若手会議”を設置。通常業務に上乘せにはなるが、手上げ方式で参画希望者を募った。素案ができたなら、令和8年2月には、住民や周防大島で働く人・まなぶ人が、素案に対して意見や提案を述べるができる「パブリックコメント」が実施される予定。



# 全国の1期目議員が集結！ 知識を「力」に変える3日間。 議員スキル向上研修

～「予算書の解説」から「条例の仕組み」まで。  
実務に欠かせない重要ポイントを重点的に学習～  
本町議会からは、占部議員・浅原議員が受講してきました！

## 【成果報告】

知識を「力」に変える！ 私たちが持ち帰った「3つのカギ」

### 議会の役割

「以前は…」  
住民の声を伝えるパイプ役  
「研修後！」  
行政と対等に議論し、自ら  
「政策を提案」する！

### 財政・予算

「以前は…」  
数字の増減だけを見ていた  
「研修後！」  
数字の裏にある「意図」と「事業効果」を読み解く！

### 法律・条例

「以前は…」  
難しく敬遠しがち  
「研修後！」  
議論の土台となる最強の「武器」！

## 参加議員インタビュー 【Q&A】



**A 1.**  
基礎的な内容を広く深く学び、頭の中がパンクしそうです。  
**A 2.**  
財政の『健康診断書』とも言える決算カードの読み方を学びました。  
**A 3.**  
他自治体の現場の『生の声』を活かし、課題解決に向けた説得力のある提案を行います。



**A 1.**  
久々の座学で辛かったですが、全国の議員との交流はとても刺激的でした。  
**A 2.**  
『昔はこれで良かった』はもう通用しないということ、常に社会の価値観（時代性）に合わせて自分をアップデートし続けなければならないと学びました。  
**A 3.**  
学んだ知識を町の未来に注ぎ、恐れず活発に活動していきます。

研修名：令和7年度市町村議会議員研修 3日間コース  
第2回「新人議員のための地方自治の基本」（滋賀県大津市）



町政を問う！

# 一般質問 7人が登壇

一般質問は、議員が町長等に、町政全般について、政策提言や事務・事業の執行状況、将来の方針等を質すものです。

ここでは、誌面の都合上、1人1問の要旨を掲載しています。

2億8千万円

橋は命

一部助成を！

請求棄却

最善を！

もっと  
会わせて！

財政破綻!?



田中豊文議員  
(P7下段)

久保雅己議員  
(掲載なし)※

山中正樹議員  
(P8上段)

山根耕治議員  
(P8下段)

占部智子議員  
(掲載なし)※

白鳥法子議員  
(P9上段)

小田貞利議員  
(P9下段)

※久保議員・占部議員の一般質問は、YouTubeの周防大島町議会チャンネルではご覧いただけます。

たなかとよふみ 議員  
田中豊文



質問：病院事業局における2億8千万円の国債売却損失

損失に対する病院事業局の責任をどう認識していますか？

病院事業管理者

国債の運用で20億円近い売却益があり問題ありません

**問** 令和2年及び令和3年度において、20年満期の額面15億円の利付国債を購入したものの、現金が不足したため令和6年度に約12億2千万円で売却したことから約2億8千万円の損失を発生させています。すでに基金が大幅に減少している状況にあった当時、残り少ない現金を使って20年満期の国債を購入する判断を、誰がどのような理由で行ったのですか。

また、このような判断にかかる書類が残されていないことも問題です。赤字経営の病院を残すための大改革を目前にした多額の損失について、誰がどう責任を取るのですか。

**答** 国債を買ったことは反省点もありますが、現金確保が最優先事項と考え売却したもので、今回の売却損は将来の病院経営を安定させるために必要と考えています。



周防大島町病院事業局

その他の質問 非農地認定について



質問：RSウイルス感染症



**60歳以上のワクチン接種  
助成の予定は？**

**国等の動向を  
注視します**

**問** 風邪のような症状で受診をされた場合、町立病院でRSウイルス感染症の診断はできますか。

また、妊婦や重症化リスクの高い高齢者の予防接種費用の助成について、町として導入に向け具体的に検討をしているか、また計画があれば伺います。

**答** 町立病院では、検査キットを備えていないため、RSウイルスの確定診断は出来ません。

妊婦については、令和8年4月1日から「母子免疫ワクチン」の1種として定期接種が予定されており、全額公費負担となる見込みです。

それ以外の方については、任意接種となっており、町立病院では、22,275円（自己負担）となっています。

高齢者接種に対する助成については、国や県内市町の動向を注視し、調査研究していきます。

その他の質問：家庭用防犯カメラ設置について



質問：監査委員からの意見への対応は



**監査委員からの意見など  
職員の就労環境について**

**部署間のつながりを持つなど指  
導と体制を強化していきます**

**問** 先日、住民から提出された監査請求について、監査委員は棄却の判断を示しました。一方で、入札契約事務については次のとおり改善意見も付されています。

- ・ 予定価格算定根拠の十分な調査
- ・ 事務準備期間の十分な確保
- ・ 専門業務に対する庁内の技術的支援体制

今後、どのように対応していくのか伺います。

**答** 監査委員から指摘のあった3点について改善するため、マニュアル整備や専門性の高い部署による支援を行い、町行政に不信感を抱かれないよう、より適正な事務の執行に向けた体制強化を図ります。

**\*住民監査請求とは：住民が自治体の財務会計上の違法・不当な行為等を指摘し、監査委員に対し監査を求め、必要な措置を講じるよう求めることができる制度**

その他の質問：カスハラ防止への取り組み

質問：入院・入所中の面会制限の緩和を



**5類移行後の面会制限は  
適切か？**

**各施設長と事業局で緩和に  
向け基準整理し進める**

**問** 5類移行後も、町立病院・介護施設で面会制限が続いており、家族の権利やQOL（Quality of Life：生活や人生の質）を損なっています。

各施設の面会条件の変遷と、制限の判断基準を伺います。

**答** 施設により緩和状況に差があります。周知レベルにも差があります。これまでは、科学的知見を有する各施設の専門家の判断を尊重し、判断は各施設に任せてきました。

今後は一定程度統一した判断基準を設け、全施設で緩和の方向で運用を検討します。

12月中に、各施設に国からの緩和を促進する通知を踏まえた面会の統一的対応に関する通知をし、施設長会議で協議します。

**【要望】**

東和・大島病院の感染専門看護師の指導力を、感染発生時のみならず日ごろから各施設でも発揮していただきたい。町民の信頼を取り戻し、公立施設としての役割を果たすため、早急な改善を要望します。

質問：行政改革・機構改革は急務



**目前に迫る町財政難に、  
どう対応？**

**できることから確実に実施  
していきます！**

**問** 病院事業局の再編計画が令和元年からスタートしましたが、予想を上回る経営悪化で、事実上破綻状況といえます。町財政も、病院事業局や下水道事業、上水道事業への多額の繰出が見込まれ、財政破綻も目前に迫っています。

部課長制度を見直し、行政財産の一括管理等、機構改革を行い、DXを推進し、各事業の見直しが急務です。町長の方針を伺います。

**答** 本町の財政は、余裕がある状況ではありません。

将来にわたり安定した町政を運営していくため、各事業の縮小、見直しは勿論のこと、大胆な行政改革、機構改革が必要です。

第5次周防大島町行政改革実施計画に、公共施設の統廃合や人事制度の見直しなどについても記載し、来年度から実施できるよう進めています。

行政改革は喫緊の課題であり、できることから確実に実施していきます。



特別委員会でも論議しています



# 議員活動報告

議会議員は、定例会や臨時会のほか、各種研修や町内の行事等に参加しています。  
監査委員は、町の財務に関する事務や事業の管理などについて、監査・検査等を実施しています。  
議員及び監査委員の10月～12月の活動を報告します。

アイコンの説明

青文字 … 全議員出席公務



## 10月

- 4日 山口市誕生 20 周年記念式典【山口市】  
近畿大島会【大阪市】
- 6日 柳井地区広域市町議会議長会臨時会【柳井市】  
柳井地域広域水道企業団管内視察【岩国市ほか】
- 7日 柳井警察署交通課長来庁対応
- 8～10日 岩国基地関連対策特別委員会視察研修【石川県】
- 9日 沖縄の基地問題を考える議員の会【石川県】
- 14日 定期監査（教委総務課・学校教育課）
- 16～17日 町村監査委員全国研修会【東京都】
- 20日 総務大臣感謝状贈呈式【東京都】
- 21日 大竹市議会正副議長来庁対応
- 22日 長崎県対馬市議会産業建設委員会視察対応  
定期監査（健康増進課・介護保険課）
- 23日 山口県商工会大会【山口市】
- 29日 国民健康保険運営協議会
- 29～30日 離島振興市町村議会議長全国大会
- 31日 例月現金出納検査（公営企業・会計課）・定期監査（福祉課）

PICK UP ①



日積浄水場に  
PFAS検査機器  
が導入。



弥栄湖

私たちの家庭の蛇口から  
出る水は、ここから100km以  
上の配管を旅してきます。

## 11月

- 6日 学校跡地施設利用検討委員会
- 7日 山口県町議会議長会定例会【山口市】
- 8日 地域活性化・害獣・防災対策特別委員会
- 10日 定期監査（4 総合支所）・つり銭監査（日良居出張所ほか）
- 11～12日 町村議会議長全国大会【東京都】
- 13日 岩国基地関連特別要望【東京都】
- 15日 岩国航空基地自衛隊記念日記念式典・祝賀会
- 17日 AI 研修会
- 18日 定期監査（生活衛生課・施設整備課）
- 19～21日 新人議員研修会【滋賀県】←P 6 参照
- 20日 地域活性化・害獣・防災対策特別委員会視察研修

PICK UP ④



1954年に防衛庁（当時）と  
自衛隊が発足したことを記  
念して毎年11月に開催。

- 21日 議会運営委員会  
行政・病院事業改革特別委員会  
議会改革（中略）特別委員会  
定期監査（空家定住対策課・総務課）
- 26日 子ども・子育て会議
- 27日 例月現金出納検査（公営企業・会計課）・定期監査（農林水産課）
- 28日 第4回定例会（1日目）  
全員協議会「病院事業第2期再編計画の変更」ほか←P4 参照  
民生常任委員会  
岩国基地関連対策特別委員会  
議会広報編集特別委員会（第84号1回目）

PICK UP ②

35年以上の永きにわ  
たり町議会議員として、地方自治  
の振興・発展に寄与され、住民  
福祉の向上に尽くされた功績に  
より、総務大臣より  
感謝状が授与され  
ました。



## 12月

- 1日 議会運営委員会
- 9日 学校跡地施設利用検討委員会
- 10日 山口県庁大島郡人会【山口市】
- 12日 第4回定例会（2日目）一般質問  
全員協議会「観光交流センター」「総合計画」ほか←P4参照  
議会運営委員会
- 16日 第4回定例会（最終日）  
議会広報編集特別委員会（第84号2回目）
- 21日 大島一周駅伝競走大会・周防大島リレーマラソン開会式
- 22日 議会広報編集特別委員会（第84号3回目）
- 24日 柳井地区広域消防組合議会定例会
- 25日 柳井地域広域水道企業団議会定例会
- 26日 例月現金出納検査（公営企業・会計課）・定期監査（税務課）

PICK UP ③



荒川政義議長が、離島振興  
を目的に設立された全国的  
連合組織の「全国離島振興  
市町村議会議長会」第30  
代会長に就任。

## 新年のご挨拶



新年、あけましておめでとうございます。  
新しい年を迎え、町議会といたしましても、引き続き国や県と連携しながら、生活支援や事業者支援など、きめ細やかな対策に取り組んでまいります。  
加えて、交通や医療、教育など、町民の皆さまが安心して暮らせる環境づくりを推進し、地域の魅力と活力を高めていく取り組みを進めてまいります。



議長 荒川 政 義

また、議会基本条例及び議会議員政治倫理条例を制定し、議会改革を推し進めているところでございます。引き続き「開かれた議会」「対話する議会」を基本姿勢に、町民の皆さまの声を大切に、誰もが住みよい周防大島町の実現、そして、周防大島町の持続可能な発展を確かなものとするため、一丸となって議会としての責務を一層果たしてまいります。

（アイキャン放送より抜粋）

本年が、町民の皆さまにとりまして、幸せ多き一年となりますように！





## アフタースクールプロジェクト (After School Project (ASP))

ASPは、地域部活動として今年度からスタートしました。

中学校での学びを活かし、地域の方々と交流しながら、周防大島町を活性化するプロジェクトで、キーワードは「稼ぐ!」です。

顧問の吉村学俊さんをはじめとした、地域の方々のご協力のもと、現在、周防大島中学校の生徒が活躍しています。

各地域での出店に向けて、イベントの企画立案から運営までを行います。これまでの手伝いだけをするボランティア活動から脱却し、自らが考え、行動することを目的に活動しています。

ASPの前身として2016年から、商工会青年部久賀支部では中学校と連携し、企業体験型キャリア教育を実践してきました。

2018年には商工会青年部全国大会「まちづくり部門」で表彰され、中学校統合を機にさらなる進化をとげ、中学校の地域部活動となり、今後は周防大島中学校だけではなく、町内

すべての中学生を巻き込んでいけるような展開にしたいと考えています。

将来的には、周防大島町の未来を背負っていただけるような人財が育つように学校・地域・生徒・町が一体となって邁進していきます。

小積の厳島神社管絃祭で  
かき氷55食完売



吉村さん



久賀のキャンドルフェスタで  
うどん200食完売



### 表紙のこと



「わがまちふるさと」を表現する、自分が思う「ふるさと」を感じる30秒のCMを作成したときの1コマです。

周防大島中学校【After School Project】では、「#島映え はじまる。」と題した作品を、第29回山口県ふるさとCM大賞に応募したところ、1次審査を合格することができました。

このCM作成を通して、生徒たちも、様々な場所へ撮影に行き、改めて周防大島町の美しさ、素晴らしさ、可能性を感じることができたように思います。

応募作品はASP公式YouTubeチャンネルにて期間限定で公開しますので、応援よろしく願いします。

表紙担当：新田 健介



2025ふるさとCM大賞  
応募作品